

令和元年度 自己評価書及び学校関係者評価書

令和2年3月23日
市立札幌旭丘高等学校

◇ 学校教育目標

～生徒の自主・自立を支援し、生涯にわたって学び続け、社会に貢献する人間の育成を目指す～

【育てたい生徒像】

- (1) 獲得した知識や技能を活用し、論理的・科学的考察によって真理を探究する生徒
- (2) 高い志を持ち、文化を創造し社会に貢献する意識を持つ生徒
- (3) 心身の健康を維持増進し、活力ある生活を送る生徒

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	評価のポイント・改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点 目標	生徒が充実した学校生活を送るよう支援する。	A	教科の学習だけではなく、特別活動等を通じて知徳体の調和がとれた教育活動の推進に努めており、生徒の部活動や行事に対する満足度は高い。生徒のより良い学校生活を送ろうとする意欲を向上させるため、バランスの取れた支援を充実させていく。	A	A
	自ら学び自ら考え、真理を探究する人間を育てる。	A	単位制の特色を生かした科目選択、総合的な探究の時間や進路探究学習などを通して、自ら学び自ら考える態度の育成を目指している。さらなる授業改善や総合的な探究の時間の見直しによって、教育活動の一層の充実を図っていく。	A	A
	広い視野に立って、生活や文化の発展に寄与する人間を育てる。	B	朝読書、学問研究会、総合的な探究の時間等の取組を通して、広い視野をもつ生徒の育成に努めている。総合的な探究の時間については、改善に向けて検討を重ねており、今後も教育活動の向上を図っていく。	A	B
	他者への思いやりや正義感をもった社会に貢献する人間を育てる。	A	部活動・学校行事の他、ボランティア活動等を通して、生徒は集団のなかでの自分の在り方や社会貢献について学んでいる。さらなる指導の充実に向けて工夫に努めていく。	A	A
学校関係者評価委員からの意見	<p>・教科学習と特別活動等から「知・徳・体」の調和の教育活動は、生徒、保護者に高く評価されている。</p> <p>・総合学習や進路探究学習等から、自ら学び自ら考える教育活動に成果を期待する。</p> <p>・読書習慣、総合的学習等から、視野を広げ生活文化の発展に寄与する生徒の育成に効果的な教育活動に期待する。</p> <p>・部活動、学校行事、地域の諸行事等に、積極的に取り組み、社会に貢献する生徒の更なる教育指導に期待する。</p> <p>・学校生活全般に対する満足度の高さは評価に値します。新学習指導要領の実施、および新しい取組に向けて、これまでの蓄積を活かした「総合的な探究の時間」の一層の充実が望まれる。</p> <p>・5名の教職員がアンケートを提出されていないのはとても残念です。全ての先生方が意欲と向上心を持って指導にあたられる様、切に希望する。</p> <p>・学校生活の満足感については、3者共に大きいことは高く評価できる。学習面は勿論のこと、様々な場面で「楽しい!」と思える経験と、充実感・達成感を味わえる様な教育活動を期待している。</p> <p>・総合的な探究の時間を役に立つと答えた生徒が、昨年の80%から85%に上がったのは評価できる。自ら学び、探究を深める力が更に向上することを希望する。</p> <p>・「自分なりに教材や教え方を工夫して授業を行っている」に「どちらかといえば、そう思わない」と答えた先生方がいらっしゃることは、工夫の余地を自覚されていて良いと思う。具体的な改善の取り組みを期待している。</p> <p>・自発的で探究心にみちた人間の成長を目指し、幅広く教養を会得できるように選択科目・総合的な探究の時間の充実をはかられていると知ることができた。今後とも向上に大いに期待申し上げたい。</p>				

<評価> A・・・よく達成されている B・・・ほぼ達成されているが改善も必要 C・・・不十分である

学習指導	授業を通して学習意欲を喚起し、基礎学力を定着させる。	B	教師は授業改善に取り組み、指導法を工夫しているが、生徒・保護者の満足度は必ずしも高くない。また、家庭学習が十分になされていない実情がある。さらなる授業改善と生徒が主体的に学習に取り組む方策について教科内で検討するなど、工夫を重ねていく。	B	B
	多様な選択科目を生徒自らの意思で選択し履修する。	A	幅広い選択科目を設定し、生徒の進路や興味関心に応じた科目を選択できるよう努めている。シラバスの整備と丁寧なガイダンスを実施するとともに、生徒にとってより魅力的な科目が設定できるよう検討していく。	A	A
	生徒の向上心に応え、適切に学習活動を支援する。	A	日常的な学習支援を行うとともに進学講習を充実させている。生徒の学習意欲をさらに喚起し、自ら課題を設定し、能動的な学習に取り組めるよう、方策を模索する。	A	A
	施設設備を整備し、有効で適切な利用を促進する。	A	講義室・体育施設が整備されており、特にラウンジは生徒間の対話や自習スペースとして有効に活用されている。単位制の基本である「共用の概念」については、教員・生徒の間で概ね意識されている。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善、指導法の向上に努め、生徒の家庭学習不十分な環境の改善指導、生徒自らの学習意欲を喚起し、授業改善に期待する。 ・進学講習等の学習活動の支援体制は充実し、生徒、保護者からの評価は高い。 ・講義室、体育施設等は、常時使用可能に整備され、単位制の基本「共用の概念」は教員、生徒に理解されている。 ・「教材や教え方の工夫」について、これまでも申し上げてきましたが、生徒が何をもち「工夫している」と感じるのか把握することが求められます。難しい課題とは思いますが、「深い学び」を実現するためには必要な取り組みかと思います。 ・「家庭学習が十分になされていない実情」とありますが、むしろ教職員、生徒、そして保護者の意識のギャップが気になるところです。 ・より効果的な指導法について向上心を持って探究してくださる様、期待している。努力・工夫する先生の姿を様々な場面で生徒に見せて頂けると素晴らしいと思う。 ・進学相談や講習などの充実はとても評価できると思う。また、その一方で、少なくない数の生徒が理解度や進度について否定的な回答をしていることについては、更なるフォローを検討することがあっても良いかもしれない。 ・シラバスをさらに周知して、教師の皆様がクリエイティブな授業を行うために改善努力されていることを積極的に伝えていただきたい。家庭学習に取り組みやすい指導方法を示していただきたい。 					
生活指導	自主自立の姿勢を育成する。	B	自主自立を育成するための指導方針は、生徒・保護者ともに理解・支持されている。一律の全体指導だけではなく、個々の生徒の発達段階に応じた自覚や意識を高める働きかけを粘り強く行う。	A	A
	健全な社会生活を送るために必要な基本的な生活習慣を身につける。	B	公共の交通機関乗車時のマナーや服装等について、教員間で共通意識をもった上で指導にあたるよう努めている。交通事故について、地域からの指摘も反映させ、未然防止に向けての啓発を行い、生徒の意識向上を促す指導を心がけていく。	A	B
	家庭との連携をはかり生活指導に臨む。	A	保護者面談、PTA 活動、学校からの配布物、ホームページ等により学校と家庭との連携を図っている。生活指導に関わり、個別の対応の他、保護者メールを活用するなど、さらなる工夫を行っていく。	A	A
	生徒会活動など特別活動への取り組みを支援し、社会性の育成の発揚を促す。	A	部活動、学校行事、また生徒会活動について、社会性の育成の場として教員が熱心に指導・支援しており、生徒の満足度も高い。今後もこれらの取組を充実させ、地域との連携も行っていく。	A	A

<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主自立の育成指導方針は、生徒、保護者に支持されているが、教員の「生活指導力」は、教員が育った環境等から「指導された体験が無い」から、「指導できない」教員として職分の自覚不十分であり、先輩教職員の矯正指導に期待する。 ・学校祭はじめ各種の学校行事や部活動、生徒会活動等への積極的参加は、社会参画の動機として、学校活動の伝統と成果を時宜適切に広報されたい。 ・「生活規律の育成」は時間がかかる取り組みが必要かと推察します。「生活規律の指導ができていない」と考える教職員の割合が昨年度より減っているとのことですが、今後も地道な取り組みを期待する。 ・昨年度に引き続き「生活規律がしっかりできているか」については、教職員と生徒・保護者の評価が分かれているが、基本的には人を傷つけたり、周囲に迷惑をかけるものでなければ本人の裁量に任せて良いものと思う。生徒自身の気づきの機会を奪うのではなく、自らが暮らし方を改めたいと思える様な指導（教職員の皆さんのあり方）を期待している。 ・部活動が行事・生徒会活動が活発に行われ、充実感や達成感を味わう生徒が多いのは素晴らしいと思う。益々充実したものになる様、期待する。 ・自主自立を推進するための生徒指導を高く評価するものである。部活動、学校祭などの学校行事、ボランティア活動、生徒会活動を活発に行い、地域に関わるマナーとコミュニケーション力を高めていただきたい。 					
進路指導	総合学習を通して、思考力・判断力を身に付け、進学先やその後の社会で活躍する力を育成する。	A	総合的な探究の時間とゼミ活動については、課題発見・解決力や発信力を高めるという目的に向かって、さらなる工夫・改善を検討している。一昨年度からポスターセッション形式の発表を取り入れたが、一層の充実に向けて取組を強化していく。	A	A
	ガイダンス機能を充実させ、的確な進路支援を行う。	A	進路に関するガイダンス機能や相談体制を充実させており、生徒や保護者から評価されている。進路情報に基づき、生徒一人ひとりに応じた丁寧な支援ができるよう、支援を強化させていく。	A	A
	適切な進路情報の提供を通して、進路意識の喚起を目指す。	A	進路探究学習や学問研究を通じ、生徒に進路に対する興味関心と理解を醸成している。進路情報の提供と保護者への説明会等も充実させている。進路情報の質を高め、提供する資料が確実に保護者へ届くための方法を工夫していく。	A	A
	進路支援プログラムを充実させる。	A	学問研究会、進学講演会、進学講習など進路支援プログラムを充実させている。生徒が進路実現に向けてより主体的に取組めるよう、内容の充実を図っていく。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路に関するガイダンス機能や相談体制は充実して生徒、保護者の評価は高い。 ・進路探究学習、学問研究会等から、進路情報に理解を深め、保護者への説明会等は充実して評価されている。 ・学問研究会、進路講演会、進学講習等進路支援プログラムは充実して、生徒が自主主体的に進路を選択できるよう更なる拡充を図っている。 ・大学入試改革が二転三転するなかで、不安を感じている生徒が少なくないと思う。引き続き、進路に関するガイダンス機能や相談体制の充実を期待する。また、今後、進路に関する情報が直接保護者に伝わるような方法を考える必要があるかもしれない。 ・日々、先生方は丁寧な指導をされていると思う。 ・生徒自身が、自分の好きなこと、得意なこと、本当にやりたいことを見つけられる様に、学問研究会、総合学習を益々充実されることを期待している。 ・進路学習・進路支援のための情報を充実させることが出来て、学校への信頼が厚いと理解する。今後とも「多様な学問研究」への関心を継続していただきたい。 				
健康安全指導	生徒一人ひとりに対する理解を深め、適切な対応を行う。	A	配慮が必要な生徒の情報を教員間で共有しており、生徒からの相談に対して丁寧な対応を心がけている。さらなる対応の適切化のために、外部機関とも連携し取組を強化させていく。	A	A
	心身の健康や安全に配慮した、バランスよい教育活動を行う。	A	教育相談の充実や緊急時対応マニュアルの整備などにより、安全で安心な教育を推進している。知徳体のバランスを念頭に、一人ひとりの生徒に対応した、適切な教育活動に努めていく。	A	A

	特別支援の体制を整備し、組織的に生徒の支援を行う。	A	学校独自の「サポートカード」や「Q-U」を用いて、サポート委員会を中心に、保健相談部、年次、スクールカウンセラーが連携をとりながら支援を行っている。生徒や保護者の困りごとに対して、丁寧に対応していく。	A	A
	いじめの未然防止に努める。	B	生徒観察に努め、日頃から担任や部活動顧問等が情報の共有を図っている。今年度に改訂した、本校の「いじめ防止基本方針」の定着に努め、未然防止の取組をさらに推進していく。	A	B
	いじめやいじめが疑われる場面で、適切に対応する。	A	継続的に「いじめ防止基本方針」を確認することで適切な対応に努め、事案が生じた際には、速やかに「いじめ防止委員会」を招集し、組織的な対応について検討を行う。	A	A
<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員は生徒からの相談問題点を、正確に理解して迅速適切な対応は、保護者から高く評価信頼されている。 ・多感な成長期、不安や鬱状態等悩みの多発する思春期について、サポート委員会健康相談部会等の早期適切な対応を期待する。 ・きめの細かな指導、支援がなされているものと思います。今後もこの体制を維持・発展させることを期待する。 ・いじめについての項目を設けたことはとても良いことだと思う。いじめは人の人生を変えてしまう恐れもあり、又、同時に自分にも傷を残すものであることを、しっかりと伝えることが大切と思う。 ・思春期特有の悩みや配慮の必要な生徒に対し、適切に対処できる様に先生間の連携や専門機関とのスムーズな連絡等が必要と思う。 ・全校をあげて人間性を高め陶冶することと連ねて心と身体を健全に保ち成長できるよう、特に人間関係構築による「いじめ防止基本方針」を常に確認いただき、ひとりひとりの生徒へのよりそいに配慮されたい。 					
広報・連携等	保護者及び地域社会との連携に努める。	A	行事の公開、PTAの活発な活動や公開講座の企画等、地域に開かれた事業の推進に努めている。HP等による情報発信、生徒に対する地域行事への参加の促し、地域住民の意見を学校運営に反映させることなどを通して、保護者や地域との連携を強化していく。	A	A
	学校説明会、中学校訪問はじめ広報活動・情報発信の充実を図る。	A	学校説明会、中学校訪問の他、ホームページによる広報活動を行っている。学校説明会は、体験授業や部活動見学を行った。学校案内パンフレットは紙面の一層の充実を図り、今年度も改訂を行った。中学校からの訪問受け入れなども含め、積極的に広報活動・情報発信に努めていく。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当校の伝統と素晴らしい成果は、学校関係者のみならず、地域や中学校等に、分かり易く時宜適切に広報されたい。 ・地域の、子育てサロンや子供餅つき大会等の諸活動に参加している実績を、更に地域の防災サロン、文化祭等に拡充されたい。 ・今後、広報は一層重要になるものと考えます。当校の独自性（独自の取組み、強み）の明確化と情報発信の方法の工夫を期待する。 ・旭丘高校の特色や素晴らしい取り組みを、地域や保護者や中学生の皆さんにも、より理解して頂ける様、HPやパンフレットの充実に取り組んでいるのは評価できると思う。より魅力的な教育実践に向けた創意工夫を大いに期待している。 ・PTA活動と地域に開かれる事業活動が活発になってきていることに心強く期待申し上げる。ボランティア活動への参加についてもホームページ、学校案内、パンフレットを通してその真価をアピールしていただきたい。 				
<p>旭丘高校として評価をうけての今後の課題</p> <p>学校関係者評価委員の方々から、「知・徳・体」の調和的教育活動と自主自立の指導方針が生徒・保護者に支持され、部活動、行事、生徒会活動が活発で生徒の学校生活に関わる満足度が高いこと、また、進学講習等の学習活動の支援体制、進路に関するガイダンス機能や相談体制が充実しており、教育相談についても、きめ細かい指導や迅速で適切な対応をしていることについて高い評価を頂いた。今後も更なる充実に向けて取組を進めていきたい。</p> <p>一方、指摘を受けた点もあり、今後は以下の点を重点に改善を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間の一層の充実により、自ら学び自ら考え、探究を深める力を向上させる。 ・社会とのつながりを意識し、生活文化の発展に寄与する生徒の育成に努める。 ・コミュニケーション力を高め、他者との関係性を築く力を養う。 ・広報活動を工夫し、本校の独自性や生徒の地域活動について、地域や中学校等に適宜適切に伝える。 ・「深い学び」を実現するための授業改善、指導法の向上と生徒が積極的に家庭学習に取り組む方策を教科内で検討するなど工夫に努める。 ・生活規律の育成について、方策の検討と教員の連携により、地道な取組を継続していく。 					

